

# 担い手通信



## 先進事例 情報

Advanced case information

### 愛媛の農機メーカーが無線草刈り機 初のハイブリッド型

低騒音低燃費  
傾斜45度まで走行

日本初の動力がエンジンとモーターのハイブリッド型である無線草刈り機が誕生しました。開発したのは、愛媛県の農機メーカー、アテックス。二つの動力を組み合わせることで、低騒音と低燃費を実現。傾斜角度45度まで走行できます。4月に発売しました。水田や果樹園での利用を想定しています。4月3日には同社関係者が、県庁の中村時広知事を訪れて販売開始を報告し、草刈り機の走行を実演しました。

開発した草刈り機「神刈(かみがり)」の特徴は、用途に応じた動力の切り替えです。トルクが必要な草刈りはエンジンを使い、移動にはモーターを使います。同社によると、従来の草刈り機に比べて燃費を1割抑えられるといます。ガソリンだけで4時間、モーターだけで1時間走行できます。従来の無線草刈り機は、傾斜が25度を超えると、エンジンが焼き付

いてしまい、故障につながりました。そこで、エンジンの傾きを自動で左右に20度制御できる機能を搭載すると、作業角度は45度まで可能になりました。同社は、ため池のり面や中山間地の畦畔(けいはん)、耕作放棄地、果樹園など、草刈り機の導入が進んでいない場面での活用を期待しています。

今後は、衛星利用測位システム(GPS)や、人工知能(AI)などの機能の搭載を目指しています。同社の村田雅弘社長は「農業の少子高齢化は深刻で、スマート農業が人手不足を解消する一手になると思う。今後は最新技術の搭載で、完全な自動化を目指したい」と中山間地での活用を期待を込めました。



アテックスが開発し、急傾斜地での活用を期待が集まる「神刈」(4月3日、松山市で)

## 営農技術 ピックアップ

### 伝統野菜「三重なばな」の晩生系統を選抜 長期収穫可能となり4割増収

県内は全国一の生産量を誇るナバナの産地です。「三重なばな」のブランドで全国に知ら

れています。三重県農業研究所では三重なばなブランド化推進協議会と



図:3月18日における各系統の抽苔状況。晩生系統は抽苔時期が遅く(蕾が見えない)、出荷できる状態です。

共同で、在来系統の中から3月末から4月上旬まで収穫可能な晩生新系統を選抜しました。「三重なばな」は抽苔(ちゅうだい)して花蕾(からい)が伸びると出荷できなくなりますが、この晩生新系統は

抽苔時期が遅く(図参照)、主力の早生系統に比べると1カ月程度収穫期間が延長できます。気温の高くなる3月以降に何度も収穫できるようになるため、従来系統に比べて4割程度の増収が見込めます。

選抜された晩生系統は、収穫物の茎の太さや食味・外観ともに従来の早生・中生系統と

比べて遜色なく、「三重なばな」の出荷基準を満たしています。高温期の貯蔵性にも優れており、従来系統よりも収穫後の腐敗は少ないことが分っています。

最適な移植時期は、セル苗を使用する場合は9月15~20日で、大きな苗を移植する場合は9月25~30日です。また晩生系統は肥料が不足すると抽苔時期が早まったり、茎葉にアントシアニンが発生したりするため、適宜、追肥を行う必要があります。

お問い合わせ先 三重県農業研究所 野菜園芸研究課 ☎0598-42-6358

## AgriwebB

農業経営のお悩みに効くヒントを提供!  
「アグリウェブ」がリニューアルしました

**学**ぶ

基礎知識

**読**む

コラム・事例集

**聞**く

農業一問一答

**相**談する

コンサルタントに相談

農業者会員登録アドレス  
**会員登録無料!**  
携帯からも登録できます

アグリウェブ 検索

- トラクターなど農業機械購入
- 栽培用ハウス・畜舎建設
- その他農業経営に必要な資金に

## 農業経営資金

# 0.2%

5年(変動金利)  
当初5年間の金利負担軽減

※表示金利は2019年4月1日時点のものです。※利子補給・金利引下げ後の当初ご負担金利は0.2%を下回らないように調整されます。※JAバンク保証料助成により、実質保証料が0円になります。

2019年4月1日~2020年3月31日

## 実質保証料負担

# 0円

保証料全期間  
全額助成!

詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。  
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>  
2019年4月1日現在